

WKCフォーラム

高齢化するアジア、 そして世界で期待される福祉用具の役割

Role of Assistive Technology in Rapid Ageing in Asia and the World

日時 2017年8月24日 (木) 13時～15時
(12:30開場・1階にて受付)

場所 神戸国際会議場 1階メインホール
(ポートライナー「市民広場駅」下車すぐ)

参加
無料

13:00-13:05 フォーラム開会挨拶 Dr Sarah Louise Barber (WHO 神戸センター所長)

13:05-13:50

第一部 講演

デンマーク人から見た“支援のある生活” --高齢化にまつわる問題に着目して--
Assisted Living in a Danish Perspective - with special focus on the ageing population and related challenges.

講演者：Mr Henrik Hjorth, Director, Creative Impact, Denmark

13:55-14:55

第二部 報告

障害のある人への国際支援、生活の中で活かされる福祉用具 in アジア
—福祉用具を活用した自立支援—

報告者：奥平 真砂子 氏 (日本障害者リハビリテーション協会)
篠田 浩之 氏 (さくら車いすプロジェクト)
松本 和志 氏 (アジア姿勢保持プロジェクト (ASAP))

内容：アジアにおける、障害者リーダーの育成や、車椅子やシーティングに関する技術支援についてご報告頂きます。

14:55-15:00 フォーラム閉会挨拶

※全編英語による講演となります (日本語同時通訳あり)

同時
開催

12:00-14:00

福祉機器展示・企画展示 一般公開

3階
展示会場

<http://www.resja.or.jp/conf-32/>